

愛知淑徳大学食育イベント振り返りシート

◎学んだと思うこと

1	大学に入学して、初めてのボランティアに参加をして、そばを打ったり、他学部学科の方や地域の方々といった普段関わりを持つことのない人と何か出来たのはとても良い経験になりました。また、パンフレット作りの際に自分で考えた献立を多くの方に褒めていただけて、とても嬉しかったです。
2	①そばの打ち方です。生地を作る時に体重をかけてこねるため、体力や筋力が必要であったため、大変だと感じました。(それも楽しいと思いました!)また、生地を丸ではなく四角に広げることに驚きを感じました。 ②レシピ考案についてです。専攻に大きく関わる分野であるため、献立作成をしたことはありませんでしたが、経験が浅いため、分からない部分もありました。そのため、試作で分量が多すぎることに気づくことになりました。私にとって実りのある経験だったと感じています。
3	蕎麦打ち難しかったが何よりも楽しかった。 お客様に美味しかったと言ってもらえた時うれしかったが、正直真菜の魅力がどれだけ伝わったか分からないので心配だった。 しかし蕎麦打ち体験を通して自分自身は真菜の魅力を確実に知ることができたので真菜の魅力を伝えるためにはどうすればいいか考えてみようと思った。蕎麦打ちだけでなくレシピ考案など、初めて「食育」に携わることができ(管理栄養士として)将来に活かせるボランティア活動だった。
4	人と人との繋がり大切さ、自分が何か行動して周りの人が喜んでくれることへの嬉しさ、協調性がいかに重要であるかを学びました。
5	長久手の伝統野菜や活動について少し学びました。私は地元が長久手では無いので、長久手についての知識があまりないのですが、ボランティアに参加してみて長久手の食育や伝統野菜について学ぶことが出来ました。

◎改善した方が良かったこと

1	整理券配布場所を人通りの多い場所にされた方がよりお客さんをお呼びしたいと思います。
---	---

◎これからやってみようこと

1	今回の経験を活かし、食関係はもちろん他のジャンルのボランティアにも参加してみたいと思いました。
2	この経験を通じて、これから先もボランティア活動に参加したいという思いと、講義で学んでいる知識を活かして、レシピ考案などをしていきたいという思いになりました。非常に楽しく、有意義な時間を過ごすことができました。
3	真菜以外の意外と知られていない食材を使って健康レシピを考案し自分たちで作ったものを提供するとか、食育教室的なものもやってみよう。
4	食に関するボランティア(レシピ提供や炊き出しなど) 子供と関わるボランティア(読み聞かせ、子ども食堂、遊びなど)
5	長久手市について知識がないなと思ったので、ボランティアなどを通してどんなところなのか知っていききたいです。また、自分の地元も他のところもそうですが、どんな活動をしているのか(食育など)全然知らないなと改めて思ったので、時間がある時に調べてみたい、ボランティアをしてみたい、知っていききたいなと思います。